

足利風 -ashikaga-fu

2019
10月号
Vol. 64



イラスト：あべ あやこ

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

* 光輝く笑顔の力 *

美しい人間の笑顔を見た・・と、思った。インド・コルカタで、マザー・テレサと話している時だった。ボランティアな無償の愛というものを心から実感した一瞬だった。詩人・茨木のり子の「マザー・テレサの瞳」～“マザー・テレサの瞳は 時に猛禽類のように鋭く怖いようだった マザー・テレサの瞳は 時に 優しさの極北を示してもいた 二つの異なるものが融けあって 妖しい光を湛えていた 鷹の眼は見抜いた 日本は貧しい国であると 慈愛の眼は救い上げた 垢だらけの瀕死の病人を一なぜこんなことをしてくれるのですかーあなたを愛しているからですよ”～

光輝くような笑顔にスリランカで逢った。アリヤラトネ～シンハラ語で“すべての目覚め”を意味するサルボダヤ運動という、人々の自立のための農村開発運動の伝説的な指導者だ。スリランカのガンジーと言われ、非暴力による社会変革をめざす。“エンゲイジド・ブディズム(行動する仏教)”を実践している。スリ(光輝く)・ランカ(島)を体現しているような笑顔だった。



画家の司 修(つかさ・おさむ)さんはこのように語っている～非暴力で、独立を勝ち取ったガンジーの伝記映画を観たが、あれこそが、生きている人間が行なった、人間の武器としての笑顔・笑いの実行であろうと思った。人間の持てる最良の力、最良の武器が笑顔・笑いの中に・・ある、と。

～私が、木喰の微笑(みしょう)仏に特に魅せられるのは、笑いの底に庶民の顔が見えるからだ。～どれもこれも、生きて苦をなめ、それを超えた笑いである。それは勇気のある者の笑いである。苦しみに嘆くのは易しいが、あい続いて襲う自然の力や人間の暴力に出会って、ひれ伏さず、泣きつかず、笑い飛ばすほど強いものがあるだろうか。堪える力も備えた笑いが、木喰仏にはある。そして、ホトケの心を余すところなく表わした像においても、その表情に、八百屋のおじさんや、豆腐屋のおばさん、魚屋の兄ちゃんたちを思わせるものがある。親しさがある。優しさがある・・これは素晴らしいことなのである。

(M生)

* 木喰の微笑仏の魅力に感動 !! *

畏友・立松和平の隠れた名著「木喰」が、5月の“まちの縁側”に登場。

五穀断ちの戒律を守り。全国行脚する先々で木っ端に仏像を彫って民草の悩みを和らげた修行僧・木喰。木喰にとりついた“ノミとシラミ”の会話をもとに仏道修行の厳しさを立松の温かな視線で描いた傑作。道元から良寛へと歩んだ立松の息遣いが優しい。参加者みんなが、木喰の微笑仏(みしょうぶつ)の魅力に感動しきりのひとときとなった。木喰に魅せられた立松和平にも感動！

* 知っていそうで知らない ガラスの話 *

清水 弘一



能登島ガラス学校パート・ド・ヴェール科卒業。足利市でガラス工房設立するも、山登りやバックパッカーにて世界一周等を楽しんだ為仕事に専念できず、才能のないことも自覚し廃業。以降、小平市にて各種ボランティア活動。

近年足利市に家族と移住し足利市観光ボランティア活動等を行う。

ガラスと言うと、ヴェルサイユ宮殿の鏡の間、ノートルダム寺院のステンドグラス、清王朝乾隆帝のカメオガラス、正倉院の白瑠璃の碗、江戸・薩摩切子ガラス、ビールやワイン・グラス、学校の試験官などなど思い出をお持ちでしょう。

ガラスの起源については、天然ソーダを扱う商人達の船が食事の支度をする為に船に積んであったソーダ塊でかまどを作り大鍋をその上に載せた。そのソーダ塊が熱せられて、砂浜の白砂と合わさって透明な液体が流れだした。「博物誌」

ガラスの定義 ガラス個体ではないと言われますが、本当でしょうか？

ガラスは 5000 年の歴史がありますが、吹きガラスはわずか 2000 年の歩みに過ぎない？

ガラスの技法は吹きガラスによるガラス類や花瓶等を思い起こしますが、アールヌーボーのラリック、エミール・ガレ、ドーム兄弟の花瓶等はどうして作ったのでしょうか？

ヴェネチアのレースグラスやモザイクはどの様に作られたのでしょうか？

小樽や月夜野で物づくり体験しましたが、サンドブラスやバーナーワークって何？

とんぼ玉もガラス？

家にはこんなガラスがありますがどの様に作ったのでしょうか？

などなどワイワイ楽しく語り合うサロンを機会あるごとに開いています。

* のびのび相談室「まんま」 *

その発達に凸凹(デコボコ)のあるお子さんと、それを支える先生方に、笑顔が戻ったり・増えたりするお手伝いをする事や心のバリアフリーをめざします。手始めに、保育園や幼稚園の先生方を対象として、勉強会や悩みごと相談会、そしておしゃべり会などなどを、毎月第4金曜日の夜に、足利市民活動センターで開催します。

みなさんお誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

*代表:中島由貴子 (☎080-9995-9824)

① インフォメーション ①

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★ 10月12日(土) PM1:00～3:00

* 本 : 「かくれ里」(白洲正子)

* 案内人: 鈴木 光尚 さん

* ひとつこと: 能に造詣が深く、青山二郎・小林秀雄の薫陶を受けて骨董を愛し、日本の美についての随筆を多く著している白洲正子。「南北朝のバサラが日本の文化を変え、趣味のいいのが本当の文化になった」と言う。ようするに白洲正子は全体の目の流れがいいのだ。数ある随筆などの中でも「近江山河抄」などとともに「かくれ里」は白眉だと思う。ぜひ一緒に白洲正子ワールドへ!

★ 11月15日(金) PM2:00～4:00

* 本 : 「場所原論」(隈 研吾)

* 案内人: 北村 隆 さん

* ひとつこと: 東日本大震災を契機に著された当代一級の建築家の新しい建築哲学の書。豊富な事例が美しい。日本文化がそれぞれの場所で培ってきた技術と建築の調和をめざす姿勢が素晴らしい。大きな場所から小さな場所へ。その場所で長年培われてきた人々の営みの中から、そこでの建築を見出す・・・
みなさんと一緒に考えてみましょう!

■会場: 足利市民活動センター

■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 10月・11月のご案内 ～

- | | |
|-----------------------|-------------|
| * 9月30日(月)～10月10日(木) | 四季の風景写真展 |
| * 10月15日(火)～10月24日(木) | 足利絵手紙の会 作品展 |
| * 10月28日(月)～11月 7日(木) | 川島直人水彩画作品展 |
| * 11月11日(月)～11月21日(木) | あべあやこ表紙原画展 |
| * 11月25日(月)～12月 5日(木) | 遠い日のふるさと展 |

☆相談室&講座のご案内

- * 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- * 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

* 編集後記 *

シンプルライフを目指して断捨離を試みた。押入れのものを引っ張り出し「ときめくか、ときめかないか」で分配してみると、あっという間ゴミ袋20個。いかにいらぬもののため込んでいたか、ビックリする。家も体も少しスリムにしなければと考えた週末でした。

(しおぱん)